

1 製品及び会社情報

・製品名	光硬化性樹脂材料 SP-Partial
・会社名	有限会社 サット・システムズ
・住所	高知県南国市岡豊町笠ノ川1052-1
・電話番号	088-802-8175

2 ハザードの特定

・物質または混合物の分類

OSHAハザードコミュニケーション基準(29 CFR 1910.1200)による分類。OSHA: Occupational Safety & Health (労働安全衛生)



GHS08 健康被害

生殖に有毒2

H361-J 生殖能力または胎児に害を及ぼす疑いがある。

特定標的臓器毒性(反復暴露2 H373) 長期または反復暴露にて臓器に障害のおそれがある。



GHS05 腐食

目のダメージ1

H318-J 重篤な眼の損傷を引き起こす。



GHS07型

急性毒性-経口4

H302-J 飲み込むと有害。

皮膚刺激性2

H315-J 皮膚の炎症を引き起こす。

感受性 - スキン 1

H317-J アレルギー性皮膚反応を引き起こす可能性がある。

・人体および環境に対する特定の危険に関する情報:

OSHAハザードコミュニケーション基準(29 CFR 1910.1200)の計算手順により、製品にラベルを付ける必要がある。

・ラベル要素

・OSHAハザードコミュニケーション基準(29 CFR 1910.1200)に準拠したラベリング

・ハザードピクトグラム



GHS05



GHS07型



GHS08

・注意喚起語 危険

・ラベリングの危険性を判断する要素:

4-(1-オキシ-2-プロペニル)-モルホリン

ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド

(1-メチル-1,2-エタンジイル)ビス[オキシ(メチル-2,1-エタンジイル)] ジアクリレート

・危険有害性情報

H302 飲み込むと有害。H315 皮膚の炎症を引き起こす。H318 重篤な眼の障害。

H317 アレルギー性皮膚反応のおそれ。

H361 生殖能力又は胎児を害するおそれの疑い。

H373: 長期にわたる、又は反復暴露により臓器に障害を及ぼすおそれ。

・使用上の注意

- ・安全上の注意を読んで理解するまで、取り扱いしないでください。
- ・ほこり/煙/ガス/ミスト/蒸気/スプレーを吸い込まないでください。
- ・この製品を使用するときは、食べたり、飲んだり、喫煙したりしないでください。
- ・もし 飲み込んだり、気分が悪くなった場合は、医師に連絡してください。
- ・もし 肌に: 多量の水で洗ってください。
- ・眼に入った場合: 水で数分間注意深く洗い流すこと。コンタクトレンズがあっても簡単にできる場合は取り外してすすぎを続けます。
- ・汚染 作業服は職場から持ち出さないでください。
- ・汚染された衣類を脱ぎ捨て、洗ってから使用してください。

3 成分の構成/情報

- ・ 化学的特性:混合物
以下のリストに成分および危険有害情報については記載します。

・ 組成 :		
CASの:68987-79-1	2-オキセパノン、2-エチル-2-(ヒドロキシメチル)-1,3-プロパンジオールおよび5-イソシアナト-1-(イソシアナトメチル)-1,3,3-トリメチルシクロヘキサン、2-ヒドロキシエチルアクリレートブロックのポリマー	50%
CASの:5117-12-4	4-(1-オキソ-2-プロペニル)-モルホリン 特定標的臓器毒性 - 反復暴露2、H373; 目の損傷 1、H318;  急性毒性 - 経口4、H302;感作性 - 皮膚 1、H317	30%
CAS:42978-66-5	(1-メチル-1,2-エタンジイル)ビス[オキシ(メチル-2,1-エタンジイル)] ジアクリレート 皮膚刺激性2、H315;眼刺激性2A、H319; 感作性 - 皮膚1、H317;特定標的臓器毒性(単回暴露3、H335)	16%
CAS:75980-60-8	ジフェニル(2,4,6-トリメチルベンゾイル)ホスフィンオキシド 生殖毒性2、H361	4%

4 応急処置

- ・ 応急処置の説明
- ・ 総記 :
製品で汚れた衣服はすぐに脱いでください。
中毒の症状は数時間後に起こることさえあります。事故後少なくとも48時間は医師に連絡してください。
- ・ 吸入後 :
新鮮な空気を供給し、必ず医師を呼んでください。
意識を失った場合は、患者を横向きに安定させて搬送してください。
- ・ 皮膚に付着した後: すぐに水と石鹸で洗い流し、よくすすいでください。
- ・ アイコンタクト後: 流水で数分間目を開けます。その後、医師に相談してください。
- ・ 飲み込んだ後: すぐに医師に連絡してください。
- ・ 急性および遅発性の両方の最も重要な症状と影響 これ以上の関連情報はありません。
- ・ 即時の医師の診察と特別な治療が必要であることを示す
これ以上の関連情報はありません。

5 消火活動の手段

- ・ 適切な消火剤: 環境に適した消火対策を講じてください。
- ・ 物質または混合物から生じる特別な危険:
加熱中または火災の場合には、有毒ガスが発生します。
- ・ 消防士のための特別な保護具と注意事項
- ・ 保護具: 口呼吸保護具。

6 誤放出対策

- ・ 個人的な予防措置、保護具、緊急時の手順：
呼吸用保護具を取り付けます。
保護具を着用してください。無防備な人を遠ざけてください。
- ・ 環境上の注意：
製品が下水システムや水路に到達しないようにしてください。
水路または下水システムに浸透した場合は、それぞれの当局に通知してください。多量の水で希釈します。
- ・ 封じ込めと浄化のための方法と材料：
液体結合材料(砂、珪藻土、酸性結合剤、万能結合剤、おがくず)で吸収します。
中和剤を使用してください。
汚染された材料を廃棄物として処分します。十分な換気を確保してください。

7 取り扱いと保管

- ・ 安全な取り扱いのための注意事項：
職場の換気/換気を十分に行います。取り扱いには注意してください。
エアロゾルの形成を防ぎます。
一般的な労働衛生対策について
- ・ 爆発や火災に対する保護に関する情報：呼吸用保護具をいつでも使用できるようにしてください。
- ・ 非互換性を含む安全な保管条件
- ・ 保管室と容器が満たすべき要件：特別な要件はありません。
食品から離して保管してください。水から離して保管してください。
- ・ 保管条件に関する詳細情報：キャップをしっかりと密閉してください。

8 暴露制御/個人保護

- ・ 職場での監視が必要な限界値をについて：
この製品には、職場で監視する必要がある重要な値を持つ関連数量の品目は含まれていません。
- ・ 第3章の構成に基づき、労働安全対策として以下の対策を提案する。
- ・ 適切な工学的管理：
食品、飲料、飼料に近づかないでください。汚れた衣服や汚染された衣服はすぐにすべて脱いでください。
休憩前と仕事の終わりに手を洗います。
防護服は別に保管してください。皮膚との接触を避けてください。
目や皮膚との接触を避けてください。
- ・ 個人用保護具などの個人保護対策
- ・ 呼吸装置：
短時間の曝露または低汚染の場合は、呼吸フィルター装置を使用してください。集中的または長時間の曝露の場合は、循環空気に依存しない呼吸用保護具を使用してください。
- ・ ハンドプロテクション：



保護手袋

手袋の素材は、不浸透性で、製品/物質/製剤に耐性がある必要があります。
浸透時間、拡散速度、劣化を考慮した手袋材料を選択

- ・ 手袋材料の浸透時間：
正確な突破時間は、保護手袋のメーカーが調べ、観察する必要があります。
- ・ 目/顔の保護：



密閉したゴーグル

9 物理的および化学的性質

・ 一般情報	
・ 様子 :	
形 :	液体
色 :	透明
・ 匂い :	低臭気
・ 臭気閾値 :	データなし
・ pH値 :	データなし
・ コンディションの変化	
融点/凝固点 :	データなし
初期沸点と沸騰範囲 :	なし
・ 引火点 :	データなし
・ 可燃性	データなし
・ 自動発火温度 :	データなし
・ 分解温度 :	データなし
・ 爆発範囲の下限と上限	
下限 :	データなし
上限 :	データなし
・ 蒸気圧 :	データなし
・ 密度 :	データなし
・ 相対密度 :	データなし
・ 蒸気密度 :	データなし
・ 蒸発速度 :	データなし
・ 溶解度/混和性	
水 :	データなし
・ 分配係数 (n-オクタノール/水) :	データなし
・ 粘度 :	
動的 :	データなし
静的 :	データなし
・ その他の情報	データなし

10 安定性と反応性

・ 反応性 :	データなし
・ 化学的安定性 :	データなし
・ 危険な反応の可能性 :	危険な反応はありません。
・ 避けるべき条件 :	データなし
・ 互換性のない材料 :	データなし
・ 危険な分解生成物 :	危険な分解生成物はありません。

11 毒物学的情報

- ・急性毒性: 飲み込むと有害。
- ・分類に関連するLD/LC50値: 使用不可
- ・皮膚の腐食/刺激: 皮膚や粘膜を刺激します。
- ・重篤な眼の損傷/刺激: 重度の眼損傷の危険性を伴う強い刺激物。
- ・呼吸器または皮膚の感作性: 皮膚の接触により感作が可能です。
- ・その他の毒物危険情報:
この製品は毒物、劇物、発がん性については次の通りです。

- ・ IARC (国際がん研究機関)

→成分は該当しません。

- ・ NTP (国家毒性プログラム)

→成分は該当しません。

- ・ OSHA-CA (労働安全衛生局)

→成分は該当しません。

12 生態学的な情報

- ・毒性
- ・水生毒性: データなし
- ・持続性と分解性: データなし
- ・生物蓄積性: データなし
- ・土壌中での移動性: データなし
- ・その他の副作用: データなし。

13 廃棄に関する考慮事項

- ・廃棄物処理方法
- ・勧告: 家庭ごみと一緒に捨ててはいけません。製品を下水に流さないようにしてください。

14 交通情報

- | | |
|--------------------------------|------|
| ・ UN番号 | |
| ・ ドット、IMDG、IATA | 該当なし |
| ・ 国連の固有船名 | |
| ・ ドット、IMDG、IATA | 該当なし |
| ・ 輸送危険クラス | |
| ・ ドット、IMDG、IATA | |
| ・ クラス | 該当なし |
| ・ ラベル | - |
| ・ 梱包グループ | |
| ・ ドット、IMDG、IATA | 該当なし |
| ・ 環境ハザード: | |
| ・ 海洋汚染物質: | いいえ |
| ・ ユーザーへの特別な注意事項 | 該当なし |
| ・ MARPOL 73/78、IBCコードに従ったバルク輸送 | 該当なし |
| ・ 交通機関/追加情報: | 該当なし |
| ・ 国連「モデル規則」: | 該当なし |

15 規制情報

・ 物質または混合物に固有の安全、健康、環境規制/法律

- ・ 第355条(極めて危険な物質):

成分は記載されていません。

- ・ 第313条(特定有害化学物質リスト):

成分は記載されていません。

- ・ TSCA(有害物質規制法):

すべてのコンポーネントの値は ACTIVE です。

- ・ 第65号議案

- ・ がんを引き起こすことが知られている化学物質:

成分は記載されていません。

- ・ 女性に生殖毒性を引き起こすことが知られている化学物質:

成分は記載されていません。

- ・ 男性に生殖毒性を引き起こすことが知られている化学物質:

成分は記載されていません。

- ・ 発癌性を引き起こすことが知られている化学物質:

成分は記載されていません。

- ・ ニュージャージー州の知る権利リスト:

成分は記載されていません。

- ・ ニュージャージー州特別有害物質リスト:

成分は記載されていません。

- ・ ペンシルベニア州の知る権利リスト:

成分は記載されていません。

- ・ ペンシルベニア州特別有害物質リスト:

成分は記載されていません。

- ・ がん原性カテゴリー

- ・ EPA(環境保護庁)

成分は記載されていません。

- ・ TLV(しきい値制限値)

成分は記載されていません。

- ・ NIOSH-Ca(国立労働安全衛生研究所)

成分は記載されていません。

16 その他の情報

関連する危険有害性情報

- ・ H302 飲み込むと有害。
- ・ H315 皮膚の炎症を引き起こす。
- ・ H317 アレルギー性皮膚反応のおそれ。
- ・ H318 重篤な眼の障害。
- ・ H319 重篤な眼刺激性。
- ・ H335 呼吸器刺激のおそれ。
- ・ H361 生殖能力又は胎児を害するおそれの疑い。
- ・ H373 長期、又は反復暴露により臓器に障害を及ぼすおそれ。

このSDSの内容と形式は、29 CFR 1910.1200に準拠しています。

免責事項

このSDSの情報は、明示または黙示を問わず、保証されるものではありません。製品の取り扱い、保管、使用、または廃棄の条件または方法は、当社の管理外となります。当社は、製品の取り扱い、保管、使用、または廃棄に起因または関連する損失、損害、または費用について責任を負わないものとしてこのSDSは作成され、この製品にのみ使用されます。

- ・ 作成日/最終更新日:2023/02/02